

## 女性専門外来開設後3年間の臨床統計

くり 栗    おか 岡    ひろ 裕    こ 子<sup>1)</sup>    よし 吉    の 野    なお 直    き 樹<sup>1)</sup>  
 いわ 岩    なり 成    おさむ 治<sup>1)</sup>    なか 中    むら 村    つかさ 嗣<sup>2)</sup>

キーワード：女性専門外来，性差医療

### 要 旨

平成16年5月に女性専門外来が開設され現在4年が経過した。今回，平成16年5月から19年3月までの3年度の間に受診した患者の臨床成績を検討し今後の当外来の問題点を明らかにした。結果は 1. 初診患者数は初年度（11ヶ月間）が286人で最も多く，17年度214人，18年度169人と減少した。2. のべ受診者数は16年度950人，17年度1,045人，18年度1,115人と変化はなかった。3. 受診者の年齢は30-40歳代が最も多かった。4. 疾患別内訳（重複あり）では，婦人科関連疾患が最も多く次いで精神科疾患，内科疾患，外科疾患の順であった。最近では精神科疾患の増加を認めている。5. 紹介患者数は各年度とも20%前後であった。初診患者数を増加させるため，紹介患者率をあげること，女性専門外来を広報することなどの対策が必要である。また女性専門外来は産婦人科の補助的側面を有しているが精神神経科疾患患者の増加が認められ，精神科疾患のプライマリケアの更なる充実が必要である。

### 緒 言

性差医療（Gender Sensitive Medicine）の概念に基づき，2001年5月，本邦で初めて鹿児島大学で女性専門外来が設立され，同年9月に千葉県立東金病院，以後全国的に次々と女性専門外来が誕生し，にわかに活況を呈した。当県においても行政指導型で平成16年5月6日より女性専門外来

がスタートした。しかし，医師不足，特に産婦人科医不足などの医療環境の変化や，女性医療の当初のブームも過ぎ去り，開設された女性専門外来が閉鎖される病院もでてくる。そこで，当院におけるこの3年間の女性外来を臨床的に検討し，さらなるレベルアップのための方策を考察した。

### 当院女性専門外来の現況

当院の女性専門外来は産婦人科所属の産婦人科専門医医師が週に1回，木曜日終日，総合診療科の外来診察室で診療を行っている。初診は予約制

Hiroko KURIOKA et al.

1) 島根県立中央病院産婦人科 2) 同 総合診療科  
 連絡先：〒693-8555 島根県出雲市姫原4-1-1